

VI 進学希望

1 看護系以外の4年制大学への進学希望

看護系以外の4年制大学へ「進学したい」者は全体で31.3%、「進学を考えていない」者は62.9%、「卒業・在学中」が3.3%である〈統計表第181表〉。また、進学したい分野としては、「心理学」が54.0%、「福祉学」が42.3%、「教育学」24.9%、「社会学」17.7%、「医学」10.2%などの順であり、様々な分野に進学希望を持っている。

年齢別に看護系以外の4年制大学への進学希望を示したのが、〈図20〉である。

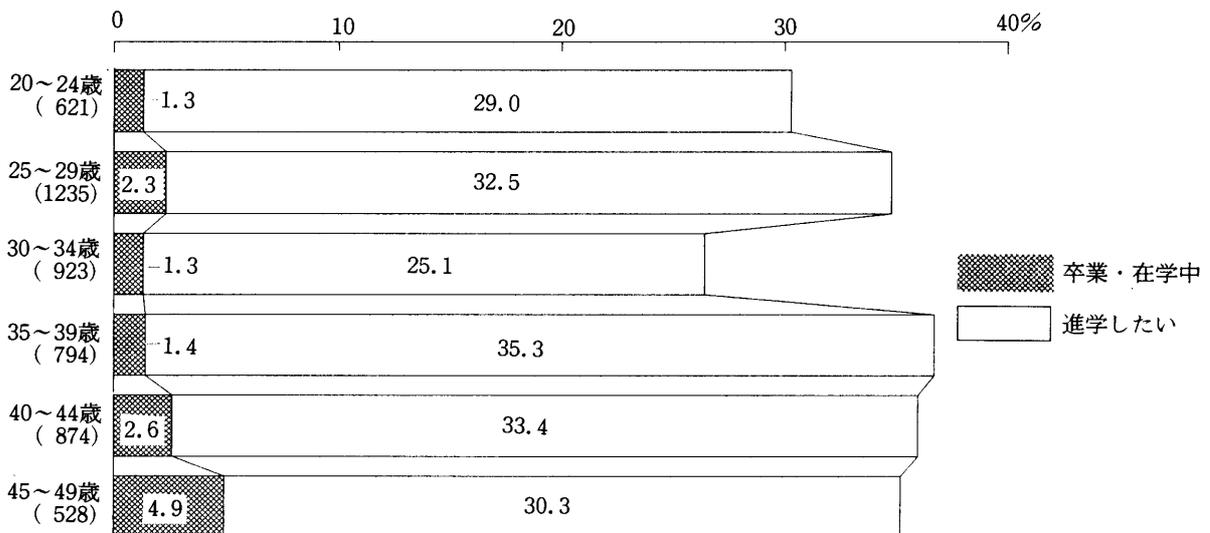
看護系以外の4年制の大学に進学を希望している者は、30代後半が35.3%、40代前半が33.4%、20代前半が32.5%などの順に多い。また、看護系

以外の4年制大学をすでに卒業したか、現在在学中である者は、まだ少数である。進学希望の分野は、各年齢層とも、「心理学」が最も多い〈統計表第181表〉。

2 看護系4年制大学への進学希望

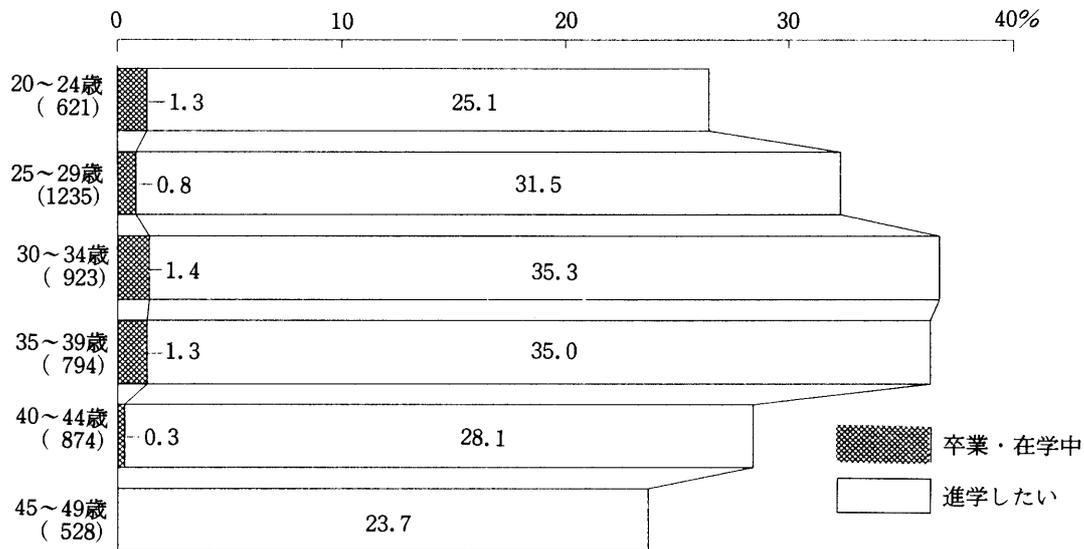
看護系4年制大学へ「進学したい」者は全体で28.4%、「進学を考えていない」者が65.4%、「卒業・在学中」が0.8%である〈統計表第183表〉。進学の形態としては、「働きながら進学したい」が34.9%、「職場を辞めて進学したい」が12.1%、「進学休暇・研修などの扱いで進学したい」が41.2%である。進学に際しての条件整備の希望としては、「社会人が入学・編入学しやすいよう選

図20 看護系以外の4年制大学への進学希望（年齢別）



(注) () 内の数字は回答者数

図21 看護系4年制大学への進学希望（年齢別）



(注) () 内の数字は回答者数

抜方法を配慮する」が67.3%、「専修学校で学んだことを評価し、大学卒業に必要な単位を少なくする」が42.7%、「夜間の学部をつくる」が42.2%、「専門学校の卒業者が大学2年生以上に編入できるように制度を改正する」が41.7%などの順である〈統計表第183表〉。

年齢別に看護系4年制大学への進学希望とを示したのが、〈図21〉である。

看護系4年制大学への進学希望の比率は、30代前半までは増加をしているが、それ以降は減少している。進学の形態としては、全体では「職場を辞めて進学したい」が最も多いが、40代後半になると「働きながら進学したい」の方が多くなり、それ以降年齢が高くなるにつれ「働きながら進学したい」の比率が高くなる。進学に際しての条件整備の希望としては、どの年齢でも「社会人が入学・編入学しやすいよう選抜方法を配慮する」が最も多い〈統計表第183表〉。

3 進学コースへの進学希望

進学コースへ「進学したい」者は准看護婦(士)全体で17.0%、「個人的な条件が整えば進学したい」が28.1%、「学校側の条件が整えば進学したい」が42.3%、「職場の条件が整えば進学したい」が14.1%、「進学を考えていない」が39.9%、「在学中」が5.9%である〈統計表第185表〉。進学に際して、望む学校側の条件整備としては、「通信制を導入する」が65.0%、「入試科目を減らす」が50.9%、「推薦入学を増やす」が42.8%などの順である。

年齢別にみると、年齢が高くなるに従って、「進学を考えていない」者の割合が高くなる。また、「在学中」は、20代前半が29.8%と最も多い。